園長だより 1月

ちゅうぶっ子

令和8年1月号
発行者
出雲市立中部幼稚園
園長　高橋　均

明けましておめでとうございます！

FELIZ ANO NOVO ！

新年明けましておめでとうございます。皆様には、ご家族おそろいで穏やかな新年をお迎えになったことと思います。本年も、どうぞよろしくお願いいたします。

冬休み中には、子どもたちに大きな事故や事件等もなく、全員元気に３学期を迎えることができ、嬉しく思っています。３学期は一年間のまとめの学期です。年少と年中は次の学年への進級を、年長は小学校入学を見据え、日々大切に過ごしていきたいと考えています。どうぞ、ご協力の程よろしくお願いいたします。

さて，今年の干支（えと）は，『丙午（ひのえ・うま）』。「丙」という字は、植物が成長し、その姿が明らかになった様子を表していて、「明るさ」「活発さ」「強い生命力」の象徴です。また、午（馬）はとても賢く、俊敏で、社交性に富んだ動物で、古来より人に身近な存在です。

今年の中部っ子も、いろいろなことに挑戦し、午（うま）のように賢く、優しく、たくましく成長していくよう願っています。

もちつき会～日本の食文化を体験しました～

Tivemos uma experiencia com a cultura fazendo Moti

１２月１６日に、中部幼稚園恒例の「もちつき会」を行いました。これは、日本の伝統的な食文化を子どもたちに体験してほしいと願って、毎年この時期に実施しています。久木のコミセンからお借りした杵と臼を使って、保護者やご家族など、たくさんのボランティアさんにもお手伝いをいただきながら、昔ながらのもちつきを全園児で行いました。

朝から大きななべで蒸したもち米の甘い匂いが漂う中、ボランティアさんに後ろから支えていただきながら、一人ずつ順番に杵を持って、ペッタンペッタンともちつきに挑戦しました。そして、その後はもちとり粉をつけて小さく丸めていきました。「熱いねー」「こんなに伸びるよ」と言いながら、粘土遊びのように楽しそうに取り組んでいました。

最後には、つきたてのもちを茹でて、きなこをつけていただきました。蒸したもち米の甘い匂いや杵の重さ、もちの熱さや長く伸びる感触、おいしいきなこもちの味など、どの子も五感を通してしっかりと体感することができたことと思います。きっと大きくなっても、覚えていることでしょうね。

お忙しい中、お手伝いくださったボランティアの皆さん、どうもありがとうございました。